

## 繊維学会 第203回被服科学研究委員会開催のお知らせ

委員長 平井郁子

第203回被服科学研究会は、日本女子大学 家政学部 被服学科の内村理奈教授をお招きして『フランス近世の清潔感と白いリネン類—白さへの憧れ—』というテーマで講演会を行いますので、ご参加くださいますようお願いいたします。また、会員以外の方にも積極的に参加の呼びかけをお願いいたします。会員、学生は参加費無料、非会員は参加費500円とさせていただきます。なお、コロナ禍の状態により急遽Zoomでの講演への切り替えもあるということをご了承下さいますようお願い致します。

### 記

日時：2022年10月28日（金）16：30～18：00

場所：大妻女子大学 千代田校舎 F棟6階 632教室  
〒102-8357 東京都千代田区三番町12

交通：JR中央線・都営新宿線・東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅下車 徒歩約10分  
東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅下車 徒歩約5分  
東京メトロ東西線「九段下」駅下車 徒歩約12分

地図：<https://www.otsuma.ac.jp/access/chiyoda>

講演：『フランス近世の清潔感と白いリネン類—白さへの憧れ—』

日本女子大学 家政学部被服学科 内村理奈教授

内容：清潔感を感じさせる色は何色だろうか。現代においても、白いシャツは洗濯用洗剤のコマーシャルに使われるなど、白さは清潔感を表すのに最適の色と考えられている。では、なぜ、白さは清潔感を表せるのだろうか。実は、このことは、フランス近世において、当時大流行した礼儀作法書のなかで、清潔であるためには白いリネン類を身につけなければならない、と明確に記されていたことに端を発している。本講演では、礼儀作法書や、不慮の事故で亡くなった変死体の調書（遺体調書）などの文献・文書資料や画像資料をふんだんに扱いながら、当時の洗濯や漂白事情にも触れながら、解き明かしたいと思う。

交流会：委員会終了後、参加者の交流会（18：30～20：30）を予定しています。

〔会場〕未定 大学近隣 〔会費〕4,000円（予定）

\*コロナ禍の状況により交流会は中止とさせていただきます。

申込：講演会へ参加ご希望の方は2022年10月15日（土）までに下記メールに申し込みをお願いいたします。

申込&連絡先：大妻女子大学 平井郁子

102-8357 東京都千代田区三番町12

e-mail：[i-hirai@otsuma.ac.jp](mailto:i-hirai@otsuma.ac.jp)